

1面:震災から4年、10大ニュース
2面:総合文化
3面:総合文化
4面:総合スポーツ
5面~8面:震災写真グラフ 大学から1999
10面:ラクロス、アメフト、定期フラッシュ

神戸大学ニュースネット

NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 http://www.std.kobe-u.ac.jp/newsnet/
関西学生報道連盟共同編集室〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9-502
電話06-6307-1315 FAX 06-6307-1316 メール newsnet@std.kobe-u.ac.jp

バイト探しに
この一冊!!

アルバイト見つかるバーバーマガジン

FROM A

毎週の発売 定価200円

1月号

'98神戸大学 10大ニュース決まる

神戸大学ニュースネット委員会が選ぶ、神戸大学の一九九八年の十大ニュース。一位にはインターネット学生協議会(SCIN)の設立や学生活動のサーバー設置などインターネット環境の充実が選ばれた。また、男子バスケや剣道、ボードセイリングなど体育会の活躍も目立った一年となった。

1位 IN協議会を設立(4月)

サークルホームページ(H P)のサイトが新たに開設され、サークル独自のアカウントが発行されるシステムに。またラクロス部や硬式テニス部が中心になって、H P開設団体の後方支援を行う『インターネット学生協議会(SCIN)』が設立された。

2位 カヌー部艇庫が全焼(5月)



五月二十四日、西宮市のカヌー艇庫が全焼、百艇以上を焼失した。被害額は二千万円以上。同部は学内での募金活動の他、H Pでも支援を呼びかけ、支援の輪は全国に広がった。

3位 毒物対策、神戸大も(8月)

相次ぐ毒物混入事件を受けて、理学部の研究室では薬品管理の再確認が、生協では缶を逆に陳列するなどの対応が見られた。

4位 国文食堂に不法侵入(6月)

『食堂に女子中学生らしき侵入者』、事件は各ワイドショーや新聞など十二社が報じる大ニュースに。

5位 震災研究会が解散(5月)

全学の教員三百人あまりで作る『震災研究会』が最終報告をまとめ解散。成果は都市安全研究センターに引き継がれる。

6位 男子バスケ部が初の1部へ(10月)

7位 神京戦が12年ぶりの中止(8月)

8位 ボードセーリング部の主将が世界大会へ(10月)

9位 相談室設置など就職活動環境が充実(7月)

10位 剣道部男子が久々の全国大会へ出場(10月)

次点 神戸大OBの宇野宗佑元総理が死去(5月)

鎮魂の思いを胸に

伊予三島市の丁藤延子さんは、毎月十七日発行のミニコミ『下H E I T H』をワープロで打つ。震災で長男の純さん(当時21歳)院を出した。全国の神戸大生の遺族から寄せられた年賀状のデモをし返送する紙面も、二十四号を重ねた。「四年暮れ、純がこれまで年賀状のデモをしたことを思い出します」。

遅子さんは倒壊した下宿で掘り出したワープロを見返す。○ ○

「防災を研究していく地元に起きることはまさか思わなかつた。自分を責める気持ちでいっぱいだった」。工学部の堀崎益輝教授の心は今も変わらない。

昨夏から震災で亡くなつた約半五百人の家族を訪ね、聞き取り調査をして

(宮・当時33歳)、鈴木伸弘さん(工・同33歳)、坂本竜一さん(工・同33歳)の三人が震災で起きた

災害で焼死した。今も隣に住む敷田洋子さん(六十六歳)が、毎日朝晩お茶とお花を供えている。[98年12月28日 滨区六甲町で 撮影者:堀江信]

下宿街に手向けの花

五月二十四日、西宮市のカヌー艇庫が全焼、百艇以上を焼失した。被害額は二千万円以上。同部は学内での募金活動の他、H Pでも支援を呼びかけ、支援の輪は全国に広がった。

田口の日本棋院で第二十一回全日本学生囲碁名人戦の全国大会(主催:サンケイスポーツ)、全日本学生囲碁連盟(主催:サンロック)が行われた。大會は全国八ブロックの代表十六人(推薦三人を含む)が参加、神戸大の中野雄之も出場した。中野は準決勝まで残ったが、田中

連盟(主催:サンロック)の代表十六人(推薦三人を含む)が参加、神戸大の中野雄之も出場した。中野は準決勝まで残ったが、田中連盟(主催:サンロック)の代表十六人(推薦三人を含む)が参加、神戸大の中野雄之も出場した。中野は

中野は准決勝で惜敗

全日本学生囲碁名人戦

中野は十一月に行われた、全日本学生囲碁十傑戦(主催:朝日新聞社)、全日本学生囲碁連盟でも、決勝戦で田中(88年)に敗れて黒番押し勝ちされ、優勝を逃している。

やつぱりマスコミが

板谷亜紀子(経営・2年)
(090-4656-9141)

SCIN
複数のML設定が可能に
学生部サーバーのサーバーCL
グリスト(ML)のサーバー
思さん(基礎工・修士二年)、井上さんの父親が経営する電気設備事業の大坂通信電業(大阪市・井上圭
学生部サーバーでメールアドレスの登録などを許可された団体ならMLを複数別に登録することが可能になる。

Pと同じ。
詳細はSCINのHP
(http://www.std.kobe-u.ac.jp/mls.html)に掲載。

SCIN
複数のML設定が可能に
学生部サーバーのサーバーCL
グリスト(ML)のサーバー
思さんが始まつた。これまで各サーバー三台以内の転送を許可された団体ならMLを複数別に登録することが可能になる。が、学生部にH Pの申請をして許可された団体ならMLを複数別に登録したが、それが可能になる。

神戸大ニュースネットは、震災特集として今月号に震災グラフを掲載(五面、九面)。一月十日から十七日まで、神戸学生青年センター(共催)で『震災写真展』(大学から1999)を開催する。当時と今写真展は一月十八日から二十二日まで。

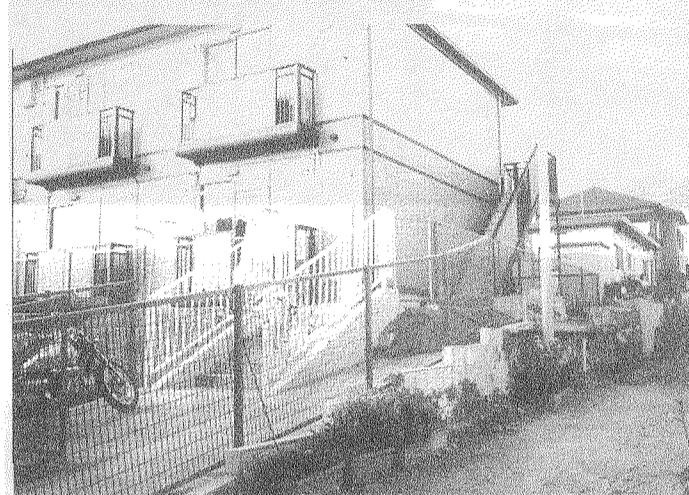
震災写真展を開催

17日まで
神戸学生青年センターで
日本棋院で第二十一回全日本学生囲碁名人戦の全国大会(主催:サンケイスポーツ)、全日本学生囲碁連盟(主催:サンロック)が行われた。大會は全国八ブロックの代表十六人(推薦三人を含む)が参加、神戸大の中野雄之も出場した。中野は準決勝まで残ったが、田中連盟(主催:サンロック)の代表十六人(推薦三人を含む)が参加、神戸大の中野雄之も出場した。中野は

中野は准決勝で惜敗

全日本学生囲碁名人戦
中野は准決勝で惜敗

中野は准決勝で惜敗



右 看板だけが焼け残った灘区の西尾荘（1995年3月18日）上
新しい下宿に看板が残る（95年末）下 花がまだ生けられている（98年12月28日）

神戸大学ニュースネット NEWS NET 新月 Tribune K.C.Press 神戸女学院大学

【震災写真グラフ】 大学から1999

震災発生から現在までの記録



震災の研究に励む教官、ボランティアを続ける学生、亡くなった学生の遺族、「神戸の人をもっと知りたい」とそっと呟くボランティア。1月17日で震災から丸4年を迎える1999年も、震災をめぐって様々な思いが交錯する。

「大学と震災」というテーマで写真を撮り続けてきた私たちができること。言葉にならない表情が何かを伝えると信じて、震災写真グラフを特集しました。

JCBのサークル 協賛で支援金をもらおう!

協賛で支援金をもらおう!

海外旅行傷害保険
サービス付
最高2,000万円

学生専用カードJCBジェイ・ワンにサークル単位で入会すると、ご入会料金に店じて支援金を返し上げます。
※体育会や各実行委員会も、もちろん対象となります。

今なら 在学中年会費無料

海外旅行傷害保険付き

JCB 学生キャッシュバック 実施中!

キャンペーン期間：JR東日本1月1日(火)～98年5月31日(月)ご入会分まで
対象：18歳以上で学生の方(高校生を除く)

入会すると
モスバーガー、デニーズの割引クーポン!

ガソリンスタンドで使うと割引!!

海外で使うとキャッシュバック!!

こうやって申し込んでね!!

もしもしJCBの
サークル協賛に
ついて…

みんな登録したら
ばくにちょうどいい
お祝いが嬉しいです

空港で
が入った!!

1 まずJCBに電話。
申込書をもらおう。

2 鈴木さんが
申込書を回収。

3 JCB担当者に
申込書を渡す。

4 支援金が
振り込まれる。

<お問い合わせ>

株式会社ジェーラービー
9:00AM～5:00PM 土・日・祝休
カード営業部(大阪)
06-944-2300

とにかくここに
電話だ!!

お気軽にお問い合わせください!!



**遺族に聞き取り
計画の責任を痛感**

灘区琵琶町には、上野志乃さん(発・当時二年)、川村陽子さん(発・当時二年)、興ショウさん(曾・当時二年)の三人の神戸大生

が亡くなると、まさか思つていなかつた。自分を責める気持ちでいっぱいになつた。【98年12月11日 神戸大・室崎教授】

父の上野政志さん(五
二)は十二月十九日、チョコレートと花を供えた。

【98年12月19日 灘区琵琶町にて 撮影:藤原靖史】

3人の祠を作る

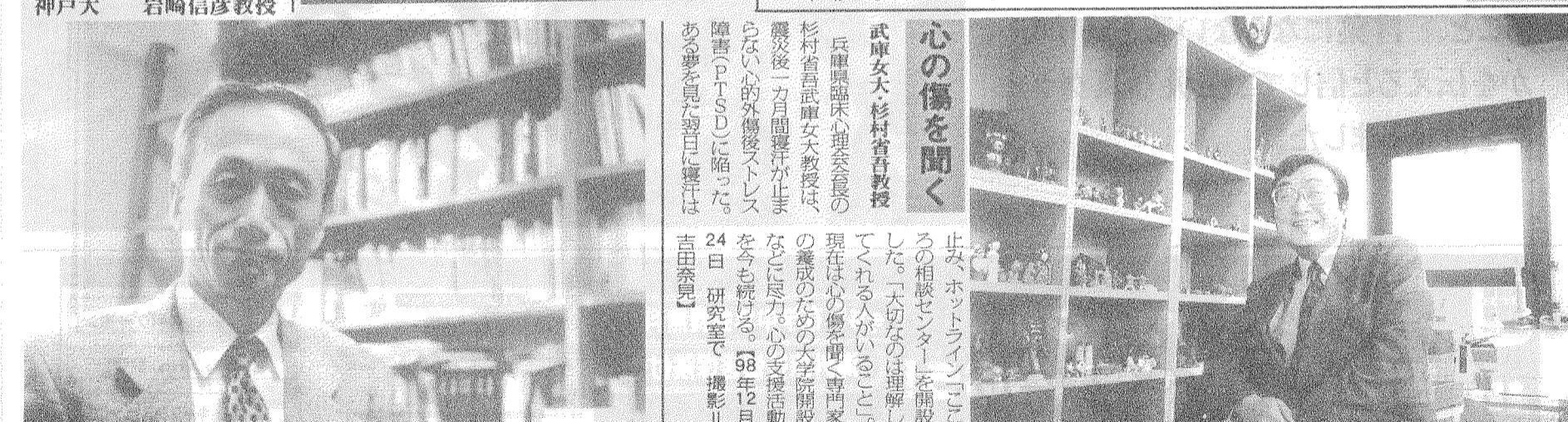
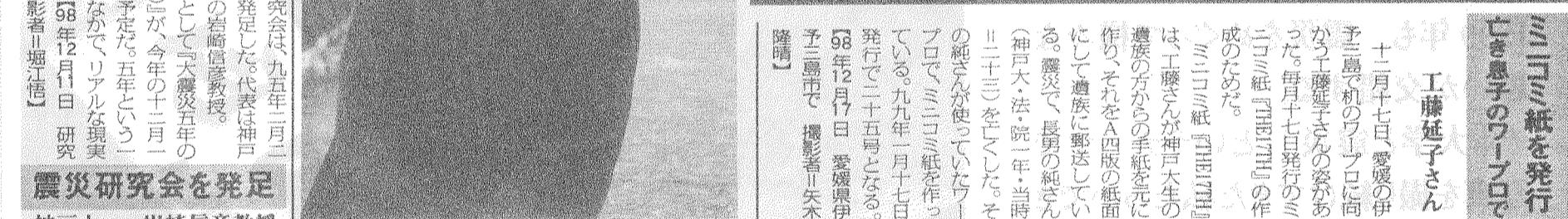
神戸大生・上野志乃さんの父、政志さん

震災報道見つめる

神女院大OG・中村有里さん

震災研究会は、九五年二月二十三日に発足した。代表は神戸大文学部の岩崎信彦教授。

四冊目として『大震災五年の有里さんは震災当時四年。ゼミや若手記者や歳月(仮)』が、今年の十二月一日に発行予定だ。五年といつ大正門で 撮影:村上千寿】



**亡き息子のワープロで
ミニコミ紙を発行**

十二月十七日、愛媛の伊予三島で机のワープロに向かう工藤延子さんの姿があつた。毎月十七日発行のミニコミ紙『THEIRTH』の作成のためだ。

ミニコミ紙『THEIRTH』は、工藤さんが神戸大生の遺族の方からの手紙を元に作り、それをA4版の紙面にして遺族に郵送している。震災で長男の純さん(神戸大・法・院一年、当時二十三)を亡くした。その純さんが使っていたワープロで、ミニコミ紙を作っている。九九年一月十七日発行で二十五号となる。

【98年12月17日 愛媛県伊予三島市で 撮影者:矢木隆晴】

心の傷を聞く

止み、ホットライン「こころの相談センター」を開設

武庫女大・杉村省吾教授は、兵庫県臨床心理会食の杉村省吾武庫女大教授は、震災後一ヶ月間寝汗が止まらない心的外傷後ストレス障害(PTSD)に陥った。現在は心の傷を聞く専門家

吉田奈見】

【98年12月24日 研究室で 撮影:吉田奈見】

高校時仮設を取材

関学の山内佑利子さんは、仮設住宅に住んでいる人の生活を自身で語る形で、その気持ちを赤裸々に描き、最優秀作品に選ばれた。その体験から「福祉を送る時の震災に関するラジオ番組を作り、NHK杯全国高校放送コンテストに応募。「仮設住宅との距

離」と題されたその作品は、仮設住宅に住んでいる人の生活を自身で語る形で、その気持ちを赤裸々に描き、最優秀作品に選ばれた。その体験から「福祉を送る時の震災に関するラジオ番組を作り、NHK杯全国高校放送コンテストに応募。「仮設住宅との距離」

離」と題されたその作品は、仮設住宅に住んでいる人の生活を自身で語る形で、その気持ちを赤裸々に描き、最優秀作品に選ばれた。その体験から「福祉を送る時の震災に関するラジオ番組を作り、NHK杯全国高校放送コンテストに応募。「仮設住宅との距離」



住民を100人救出
当時の神戸商船大學生
柳瀬壯規さん(左)
現在、練習船「日本丸」に
運輸教育として勤務する有
田俊晃さん(二四)は、震
災当時神戸商船大學生の
寮「白鷗寮」の百自治会の
会長。
もちつきで交流
神戸大の震災救援隊
総合ボランティアセンター

住民を100人救出
当時の神戸商船大學生
柳瀬壯規さん(左)
現在、練習船「日本丸」に
運輸教育として勤務する有
田俊晃さん(二四)は、震
災当時神戸商船大學生の
寮「白鷗寮」の百自治会の
会長。

がれきに埋もれた住民百人
以上を寮の仲間と共に救い
出した。「船乗りの魂を見せ
ただけです」と有田さん。
新聞に取り上げられたこと
躍賓生の活動が知られ、一
九九五年七月には「内閣總
理大臣賞」の表彰を受け
た。【98年12月26日 日本
丸で 撮影=吉田奈見】



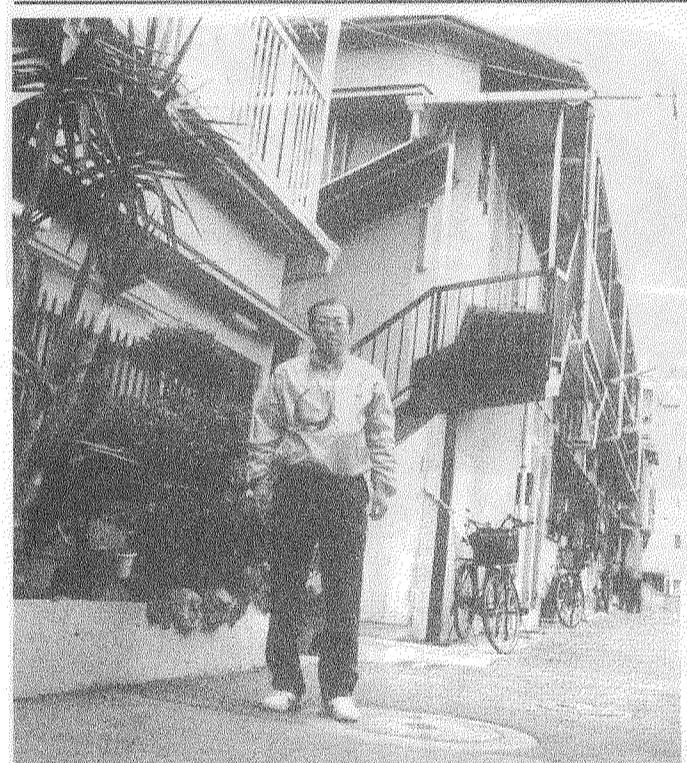
隆晴】

心に残る仮設調査 関学・柳瀬壯規さん

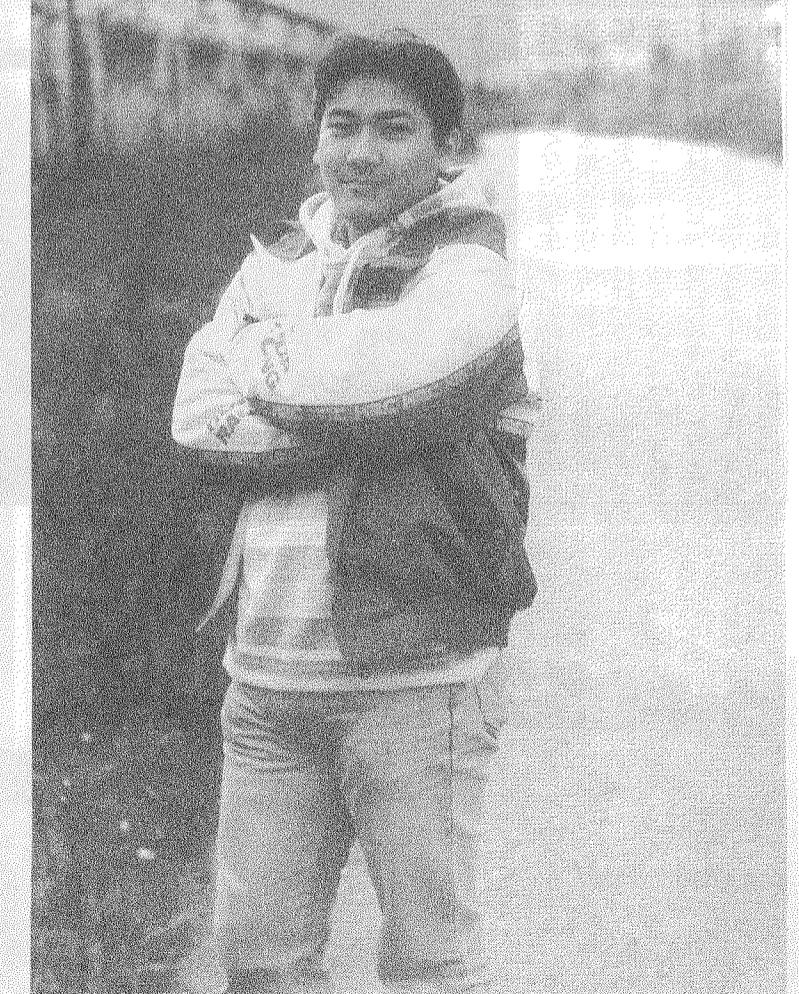
『関学ヒューマンサービスセンター』は、仮設住宅
調査の「リボン運動」を行なうボランティア団体。

代表の柳瀬壯規さん(社
三年)はその仮設住宅の調
査などを担当。震災直後は
至世帯にのぼる人々が生
活していた仮設も、今では
約八百五十世帯まで減少。

柳瀬さんは「とても気さく
にしゃべってくれた人がい
て、西宮名塩の仮設には思
い出に残っている」とい
う。【98年12月12日 西宮
名塩の仮設で 撮影=矢木



「育ててくれた街を忘れない
ことが大切だ」とまで言い切る。
人と自然がつながる神戸
の街づくりを目指し、「ア
クセス」の意味を知っ
た「大外大の森栗助教授は
震災で自らの学問が変わっ
くしたもの」を提言、「ふれあい住
宅」の建設も実現した。神
戸復興塾では森栗助教授
ら専門家が勉強会を開き、
復興に全力をあげる。【98年
11月22日 長田区の生家
前で 撮影=吉田奈見】



長田を見つめて4年
長谷部治さん

震災直後、四人の鹿経大
生が長田区に駆けつけた。
その一人、長谷部治さん
(五)は現在長田区ボラ
ンティアセンターに勤務。
長田区ボラセンで中心的
存在となった長谷部さんは
活動をいったん中止。四月
から一年間大学へ戻り、長
田区ボラセンに就職した。
多くの復興住宅は民間の
マンションを賣り上げてい
るもの。その為、住民が交
流する場がない。住んで
良かつたと思えるような場
を作りたい」と möchten大
会など交流会をコーディネ
ートしている。しかし岐阜
出身の長谷部さんは「わつ
と神戸人の気持ちが理解
できぬくなれば」。
【99年1月4日 当時復泊
まつしていた長田区役所
前で 撮影=矢木隆晴】

共に生きる

碑の除幕式が行なわれた。小雨の中行なわれた式には、遺族、教職員など約百四十人が参列した。神戸大・慰靈碑は、震災が行なわれる。志さんは九年十二月十九日、六甲百学舎の慰靈碑で、さくらんぼを下野政大に慰靈。撮影者：矢木隆晴

パソコンに名前を

神戸大理学部

神戸大理学部地球惑星科学科のホームページのアドレスの二部に「shidatara」の名がある。同学科が震災で亡くなった歯架原（じだばら）孝さん（理・当時三年）の名前をつけている。

歯架原さんの両親からの十万円の寄付を元に歯架原基金を設立。震災のとき、インターネットが活躍したことから、学生用のワークステーションを設置した。http://shidatara.earth.s.kobe-u.ac.jp/index_j.html【G悟】

12月1日 理学部学舎で 撮影者：堀江

新たな道歩む

大手前女大

阪神大震災から今年で四
年の大手前女大は一九九
六年に完成した新校舎、情
報化に向けたマルチメディア
二学科で男女共学化など
は震災前に見られなかった

新しい大學像に向かって歩
れたそのなくなった学生
を惜しんで新本館の玄関柱
に二人の名を刻んだ鎮魂碑
にはいつも二人が学生を出
迎えている。【上】被災を

受けた校舎 右 エントラ
ンティア活動を行った。
生は次々に卒業し、大学は

日 撮影者：吉田奈見】
98年12月24日

最大の地滑り被害

仁川百合野町地区
三千人の犠牲者が出た
仁川百合野町地区。震災の
土砂災害では最大の被害と
きた。【写真上】仁川百合
野町地区の慰靈碑 撮影：矢
木隆晴 右 嘉後の百合
野町 関学広報室提供】

グラウンドにひび

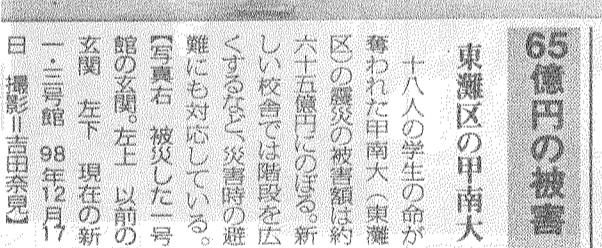
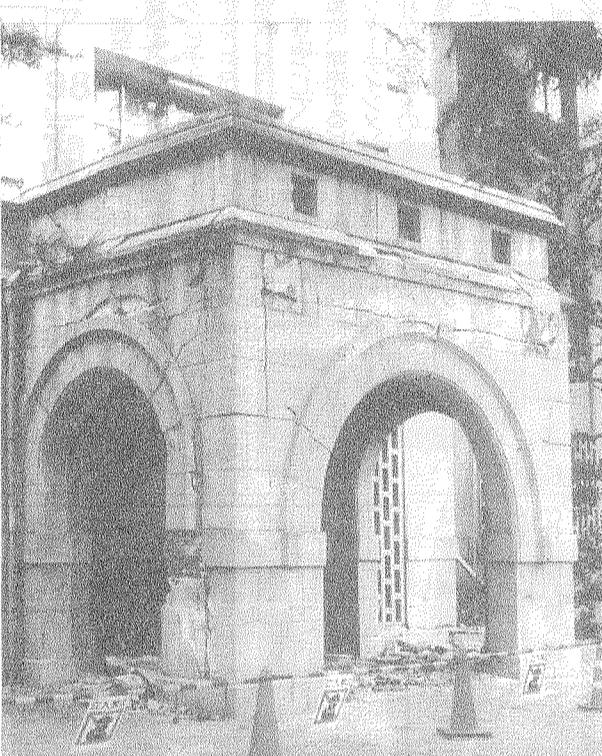
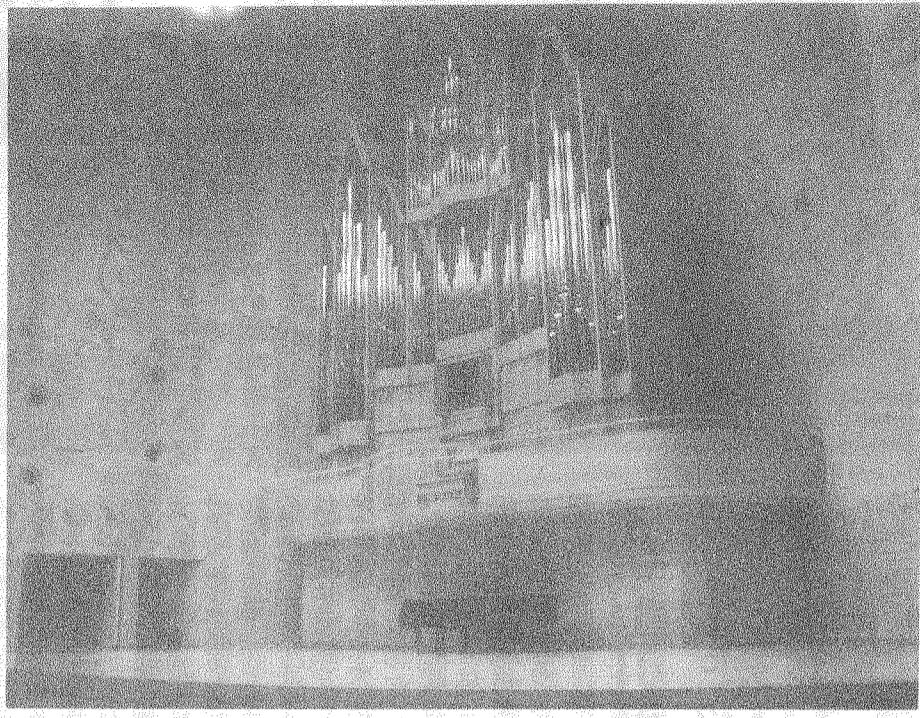
神戸常盤短期大

大火災が発生した長田区の山の裏手にある神戸常盤短大では、三号館が南へ三十分メートル移動、渡廊下が整備寸前となる被害を受けた。教職員は全員無事が確認されたが、学生が一人亡くなっていた。

学校側は下宿先を失った

生徒のために仮設学生寮の建設を急ピッチで進めるなど職員のが復旧活動に全力を挙げた。現在は幼稚教育科の学生三十七人が、仮設から復興住宅へ転居した人を対象とした訪問ボランティアを、長田区ボランティアセンターと共に実行している。左 ひびが入るグラウンド 提供写真：右

98年12月25日 撮影：吉田奈見】



神女院大が全壊した二つの建物の一つ、茶室の「松籟庵」。震災直後は絶賛の限界で、茶室は建物の一部になるのはもとより、なった。そこに卒業生の塩谷尚子さんから、茶室の寄付の話が出た。再建後改名「松風庵」となった。【地図直後】

寄付で茶室再建

神女院大 改名し「松風庵」に

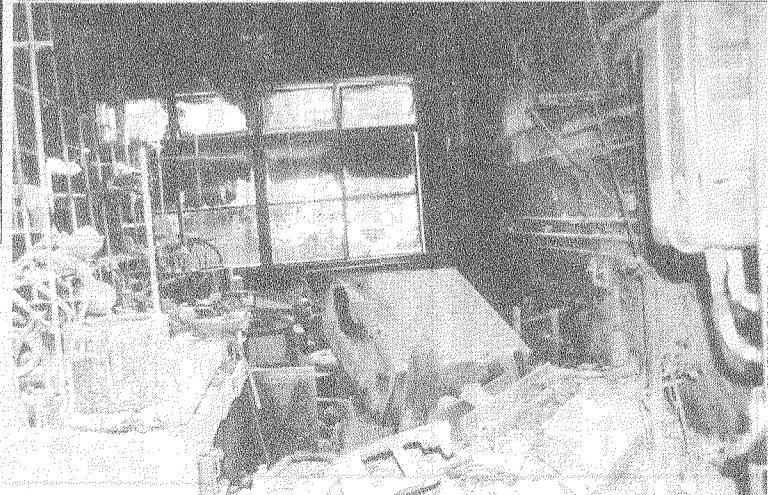
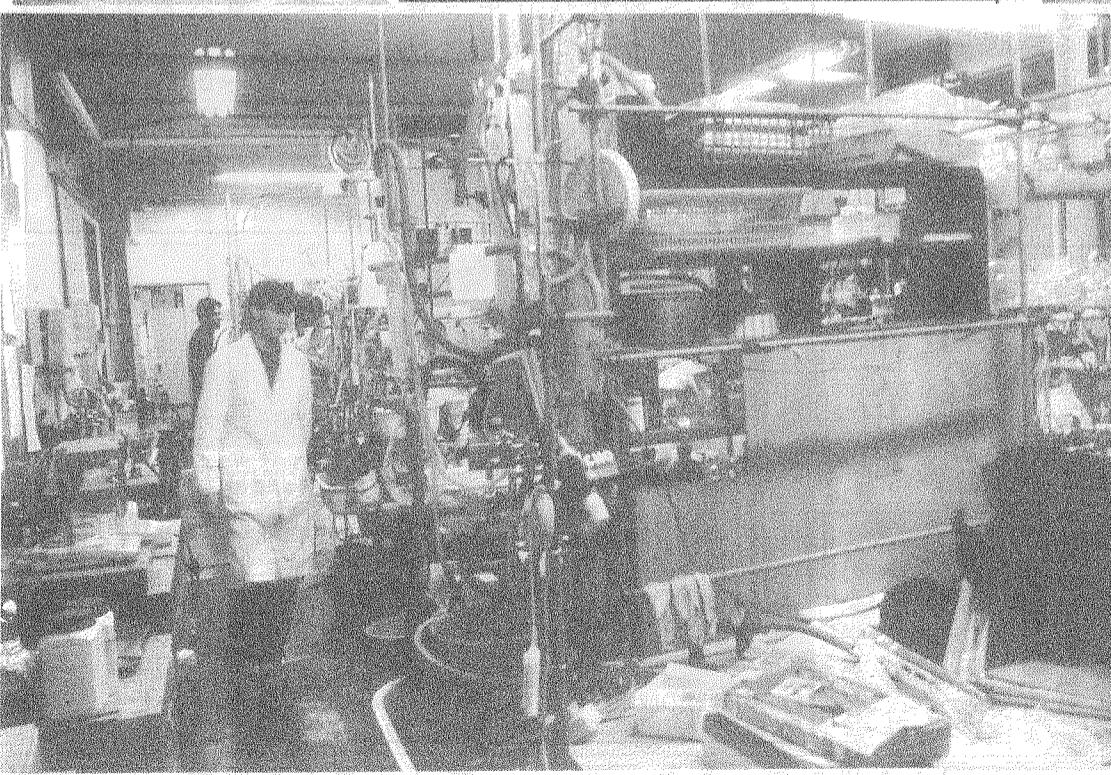
施設課提供

パイプオルガンが復活

甲南女大 98年12月7日に完成

甲南女大の芦原講堂のパイプオルガンは震災で倒壊した（左）。約四年の月日が過ぎた士二月七日によく新しく完成（右）。以前は音響に影響が出るからという理由で、若干耐震性を犠牲にしていたが、今回は耐震性を高めた。

【右】98年12月17日 撮影
吉田奈見 左 提供写真



延焼を防ぐ

関学理学部院生ら

関学理学部は震災直後に有機化学研究室で火災が発生した。幸いすぐに教員一人と院生十四人が駆けつけ、延焼を防いだ。研究室には様々な物質があるため、出火原因は不明。強烈な烟で、四トンの実験装置は一メートル動いた。理学部の被害額は六千円以上。佐野直克理学部長は「教職員や学生の尽力で、半年ほどで研究できる環境に整った」と振り返る。

現在有機化学研究室は山田英俊教授の研究室で、その面影を所々に見せるだけだ。引き出しにはすがまだ残り、火事に耐えた棚には薬品が並んでいた。震災後は倒れて発火しないように、燃えやすい物質は工夫された棚に収容されている。【上】98年12月22日 撮影：矢木隆晴
【右】火災直後 関学広報室

